

第2章 四條畷市の文化財の概要

1 指定等文化財

令和9年（2027）3月時点、本市の指定等文化財は国指定2件、国登録7件、府指定8件、市指定15件の計32件です。文化財の保存技術に選定されているものはありません。

表 2-1 指定等文化財の件数（令和9年（2027）3月時点）

種 別			国			府			市指定	計 (件)
			選 定 指 定	選 択	登 録	指 定	選 択	登 録		
有形文化財	建 造 物		0	—	7	1	—	0	0	8
	美術 工芸品	絵 画	0	—	0	0	—	0	0	0
		彫 刻	0	—	0	0	—	0	1	1
		工 芸 品	1	—	0	0	—	0	0	1
		書跡・典籍	0	—	0	0	—	0	0	0
		古 文 書	0	—	0	0	—	0	0	0
		考 古 資 料	0	—	0	2	—	0	14	16
		歴 史 資 料	0	—	0	1	—	0	0	1
無形文化財			0	0	0	0	0	—	0	0
民俗 文化財	有 形 の 民 俗 文 化 財		0	—	0	0	—	0	0	0
	無 形 の 民 俗 文 化 財		0	0	0	0	0	—	0	0
記念物	遺 跡 （ 史 跡 ）		1	—	0	3	—	0	0	4
	名 勝 地 （ 名 勝 ）		0	—	0	0	—	0	0	0
	動物・植物・地質鉱物（天然記念物）		0	—	0	1	—	0	0	1
文 化 的 景 観			0	—	—	—	—	—	—	0
伝統的建造物群			0	—	—	—	—	—	—	0
計（件）			2	0	7	8	0	0	15	32

0：該当なし、—：制度なし

表 2-2 指定等文化財一覧（令和9年（2027）3月時点）

区分	指定等	分野	種別	名称	数量	所在地	指定年月日	備考
国	指定	有形（重文）	美工（工芸品）	太刀 銘：包永	1	大阪府中央区大手前（寄託）	T13.4.15	所有者：四條畷神社
国	指定	記念物	史跡	飯盛城跡	1	四條畷市大字南野	R3.10.11	
国	登録	有形	建造物（建築物）	大阪府立四條畷高等学校本館	1	四條畷市雁屋北町	H17.7.12	昭和9年～11年
国	登録	有形	建造物（建築物）	四條畷市立歴史民俗資料館展示室	1	四條畷市塚脇町	H19.5.15	明治40年

区分	指定等	分野	種別	名称	数量	所在地	指定年月日	備考
国	登録	有形	建造物 (建築物)	田中家住宅主屋	1	四條畷市 大字逢阪	R8. 2. 10	明治19年 ／昭和45 年・60年 頃改修
国	登録	有形	建造物 (建築物)	田中家住宅乾蔵	1	四條畷市 大字逢阪	R8. 2. 10	大正6年／ 大正後期
国	登録	有形	建造物 (建築物)	田中家住宅離れ	1	四條畷市 大字逢阪	R8. 2. 10	大正6年頃 ／昭和40 年代改修
国	登録	有形	建造物 (建築物)	田中家住宅異蔵	1	四條畷市 大字逢阪	R8. 2. 10	明治40年 ／平成15 年改修
国	登録	有形	建造物 (建築物)	田中家住宅中門	1	四條畷市 大字逢阪	R8. 2. 10	明治40年
府	指定	有形	建造物 (工作物)	逢阪 石造 五輪塔	1	四條畷市 大字逢阪	S52. 3. 31	室町 延元元年 「台石刻銘」
府	指定	有形	美工 (考古)	住吉神社の石槽	1	四條畷市 大字上田原	S48. 3. 30	
府	指定	有形	美工 (考古)	田原氏墓地出土 青磁袴腰香炉	1	四條畷市塚脇町	H11. 2. 5	中国 南宋
府	指定	有形	美工 (歴史)	千光寺跡出土 田原礼幡キリシタン墓碑	1	四條畷市塚脇町	H19. 1. 19	安土桃山
府	指定	記念物	史跡	伝和田賢秀墓	1	四條畷市南野	S45. 12. 7	
府	指定	記念物	史跡	伝楠木正行墓	1	四條畷市 雁屋南町	S46. 3. 31	
府	指定	記念物	史跡	忍岡古墳	1	四條畷市岡山	S47. 3. 31	
府	指定	記念物	天然記念物	四條畷楠木正行墓のくす	1	四條畷市 雁屋南町	S46. 3. 31	
市	指定	有形	美工 (彫刻)	正傳寺所蔵 薬師如来立像	1	佛法山 正傳寺	H24. 1. 26	平安時代
市	指定	有形	美工 (考古)	更良岡山遺跡出土 翡翠製大珠	1	四條畷市塚脇町	H21. 12. 24	縄文時代 後期
市	指定	有形	美工 (考古)	雁屋遺跡出土 板付Ⅱ式大型壺	1	四條畷市塚脇町	H21. 12. 24	弥生時代 前期
市	指定	有形	美工 (考古)	城遺跡出土 翡翠製獣形勾玉	1	四條畷市塚脇町	H21. 12. 24	弥生時代 前期
市	指定	有形	美工 (考古)	雁屋遺跡出土 双頭渦文付木製四脚容器	1	四條畷市塚脇町	H21. 12. 24	弥生時代 中期
市	指定	有形	美工 (考古)	南山下遺跡出土 馬形埴輪	1	四條畷市塚脇町	H21. 12. 24	古墳時代 中期
市	指定	有形	美工 (考古)	忍ヶ丘駅前遺跡出土 子馬形埴輪	1	四條畷市塚脇町	H21. 12. 24	古墳時代 中期
市	指定	有形	美工 (考古)	忍ヶ丘駅前遺跡出土 人物埴輪(頭部)	1	四條畷市塚脇町	H21. 12. 24	古墳時代 中期
市	指定	有形	美工 (考古)	岡山南遺跡出土 家形埴輪	1	四條畷市塚脇町	H21. 12. 24	古墳時代 中期
市	指定	有形	美工 (考古)	岡山南遺跡出土 木製下駄	1	四條畷市塚脇町	H21. 12. 24	古墳時代 中期
市	指定	有形	美工 (考古)	忍ヶ丘駅前遺跡出土 琴を弾く人物埴輪	1	四條畷市塚脇町	H21. 12. 24	古墳時代 後期
市	指定	有形	美工 (考古)	雁屋遺跡1号・2号方形 周溝墓共有溝内出土 朱 塗り土器 一括	5	四條畷市塚脇町	H22. 12. 24	弥生時代 中期
市	指定	有形	美工 (考古)	千光寺跡出土 3号墓遺物・6号墓常滑焼 大甕・刻印瓦	9	四條畷市塚脇町	H24. 12. 24	鎌倉時代

区分	指定等	分野	種別	名称	数量	所在地	指定年月日	備考
市	指定	有形	美工 (考古)	中野遺跡出土 2号井戸 「應保二年」銘曲物	1	四條畷市塚脇町	H25.12.27	平安時代
市	指定	有形	美工 (考古)	雁屋遺跡出土 組合せ式 木棺・人骨 一括	3	四條畷市塚脇町	H26.12.26	弥生時代 中期

2 未指定文化財

本市では、指定・登録された文化財以外の未指定の文化財についても、把握調査を進めています。

令和9年（2027）3月現在で把握している市内所在の未指定文化財は計 1614 件です。

表 2-3 未指定文化財の把握件数（令和9年（2027）3月時点）

種 別			合 計
有形文化財	建 造 物		77
	美術 工芸品	絵 画	29
		彫 刻	90
		工 芸 品	27
		書跡・典籍	1
		古 文 書	11
		考 古 資 料	392
		歴 史 資 料	4
		石造物	134
無形文化財			1
民俗 文化財	有 形 の 民 俗 文 化 財		23
	無 形 の 民 俗 文 化 財		52
記念物	遺 跡		2
	名 勝 地		0
	動物・植物・地質鉱物		0
文 化 的 景 観			0
伝統的建造物群			0
埋蔵文化財			51
文化財の保存技術			0
その他 の所産	言い伝え		8
	地 名		712
計（件）			1614

0：該当なし

3 文化財の類型ごとの概要

(1) 有形文化財（建造物）

指定等のものは指定文化財 1 件、登録文化財 7 件の合計 8 件です。

大阪府指定文化財である「逢阪 石造 五輪塔」は台石に延元元年（1336）の銘があり、室町時代に造立されました。

国登録有形文化財の 7 件は、いずれも近代に建てられ、現在も使用されています。

「大阪府立四條畷高等学校本館」は昭和 9 年（1934）～11 年（1936）にかけて建築された、鉄筋コンクリート造の校舎です。「四條畷市立歴史民俗資料館展示室」は明治 40 年（1907）に造られた土蔵で、現在は民俗資料展示室として利用されています。田中家住宅 5 件は、近代に逢阪で建てられた大規模農家建築です。

未指定文化財は寺社建築と民家の建築が中心です。西部地域の民家は入母屋屋根で玄関が南に面している南側平入のものが多くことが特徴です。一方、東部地域は西部と同様のものに加えて、大和棟型式の屋根があります。このほか、ゴルフ場やボーリング場などに特徴的なデザインの近代建築があります。

(2) 有形文化財（美術工芸品）

指定等のものは国指定（重要文化財）の工芸品が 1 件、大阪府指定の考古資料 2 件、歴史資料 1 件、四條畷市指定文化財の彫刻 1 件、考古資料 14 件の、合計 19 件です。

① 絵画

把握調査が不十分な分野で、指定・登録されたものはありませんが、寺院所蔵の宗教絵画が中心です。各地区の檀家寺となっている寺院に残っています。

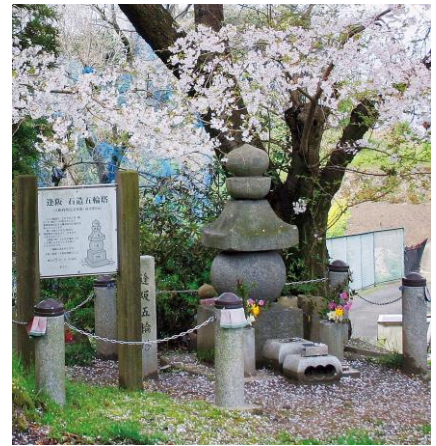


図 2-1 逢阪 石造 五輪塔



図 2-2 大阪府立四條畷
高等学校本館



図 2-3 如在寺所蔵
歌舞伎絵看板

代表的なものに、南野の弥勒寺が所蔵する阿弥陀来迎図（室町時代）、雁屋の法然寺が所蔵する方便法身尊像（室町時代）、清滝の如在寺が所蔵する歌舞伎絵看板（江戸時代、安政6年（1859））などがあります。

② 彫刻

「正傳寺所蔵 薬師如来立像」は市指定文化財です。平安時代に造られた仏像で、もとは近隣の森福寺が所蔵していましたが、明治時代に廃寺となり、上田原の正傳寺に移安されました。

未指定文化財は把握調査が不十分な分野ですが、寺社所蔵の宗教彫刻が中心です。代表的なものに、下田原の法元寺が所蔵する十一面観音立像（平安時代）、岡山の大正寺が所蔵する聖観音立像（平安時代）、中野の正法寺が所蔵する聖徳太子立像（南北朝時代）と如来坐像（室町時代、天文10年（1541））などがあります。

③ 工芸品

「太刀 銘：包永」が国の重要文化財に指定されています。鎌倉時代に打たれた刀で、四條畷神社が所有しています。未指定文化財は把握調査が不十分な分野ですが、上田原の月泉寺が所蔵する胎内仏の千手観音立像（鎌倉時代）、寺院所蔵の梵鐘をはじめとした宗教工芸が中心です。

④ 書跡・典籍

把握調査が不十分な分野で、指定・登録されたものはありませんが、清滝の如在寺が所蔵する七世市川團十郎書額があります。

⑤ 古文書

「南野用水組合文書」は未指定文化財で、南野村の水論にかかわる絵図や村文書などを含みます。未指定文化財は、逢阪の田中家をはじめとした旧家に伝わる古文書や、それを本市へ寄贈を受けたものが



図 2-4 正傳寺所蔵
薬師如来立像



図 2-5 月泉寺所蔵
千手観音立像



図 2-6 如在寺所蔵
七世市川團十郎書額



図 2-7 南野用水組合文書

中心です。北河内を中心に広く収集された古文書として、本市が所蔵する平尾兵吾氏収集文書があります。その他、講関係の文書も含みます。

⑥ 考古資料

指定等文化財は、岡山南遺跡や忍ヶ丘駅前遺跡など、古墳時代の遺跡から出土した考古資料が全体の半数近くを占めます。「南山下遺跡出土 馬形埴輪」や「忍ヶ丘駅前遺跡出土 子馬形埴輪」など、朝鮮半島から運ばれてきた馬が、本市域で飼育され、馬飼い集団が牧で生活を営んでいたことを示す資料が存在します。

未指定文化財も市内で出土・採集した資料が中心です。昭和40年代からの発掘調査により出土した資料が数多く残っています。表2-3では、出土品を発掘調査1件ごとに一括して1件と記載します。

⑦ 歴史資料

把握調査が不十分な分野ですが、「千光寺跡出土 田原礼幡キリシタン墓碑」が大阪府指定文化財です。天正9年（1581）に造られ、現在、日本最古のキリシタン墓碑とされています。未指定文化財として大阪府立四條畷高等学校が所蔵する校史関係資料、地歴考古学クラブ関係資料などがあります。

⑧ 石造物

石造物は一般的には建造物や彫刻などの種別に分類されますが、本市の歴史文化の特性を表すものとして重要な存在であるため、独立した項目を立てて記述します。

指定・登録されたものではありませんが、地蔵や道標などが中心です。十三仏塔や、『河内名所図会』（巻之六）に掲載されている雁塔などがあります。



図 2-8 忍ヶ丘駅前遺跡出土
子馬形埴輪



図 2-9 大阪府立四條畷高等学校
地歴考古学クラブ関係資料



図 2-10 雁塔

（３）無形文化財

指定・登録されたものではありませんが、正月に食する雑煮に入れる^{ことうふ}粉豆腐とよばれる貴重なタンパク質を補う伝統食が、下田原に伝わっています。

（４）民俗文化財

① 有形の民俗文化財

指定・登録されたものではありませんが、本市で使用されてきた生活用具が中心です。このほか代表的なものに、各地区で曳行するだんじりや蒲団太鼓、講で使用してきた道具があります。表 2-3 では、本市で所蔵・保管している有形の民俗文化財について一括して 1 件と記載します。



図 2-11 だんじりの祭礼

② 無形の民俗文化財

指定・登録されたものではありませんが、本市の家庭や地区、寺社で伝えられてきた行事が中心です。砂絵やお月見どろぼう等の特徴的な行事、各地区で曳行するだんじりや蒲団太鼓の祭礼があります。生駒山系は修験の地でもあるため、修験や行者に関連する祭礼などもあります。

（５）記念物

国の史跡（遺跡）に指定されたものが 1 件、大阪府指定文化財の史跡が 3 件、動物・植物・地質鉱物（天然記念物）が 1 件あります。

① 遺跡（史跡）

国の指定史跡（遺跡）が 1 件、大阪府指定史跡（遺跡）が 3 件あります。三好氏の居城となった「飯盛城跡」や、市名の由来である、四條畷の戦いと関係が深い「伝楠木正行墓」などがあります。未指定の現に地表で明らかな遺跡として、上田原の田原城跡、中野の



図 2-12 飯盛城跡（石垣）

墓ノ堂古墳があります。なお、埋蔵文化財包蔵地としての遺跡については、別途該当項目で記載します。

② 名勝地（名勝）

把握している文化財はありません。

③ 動物・植物・地質鉱物（天然記念物）

大阪府指定の「四條畷楠木正行墓のくす」があります。大阪府指定史跡（遺跡）の「伝楠木正行墓」指定地内にある樹齢 500 年以上のクスノキの木です。

未指定の把握している文化財はありません。

（6）文化的景観

該当するものではありません。

（7）伝統的建造物群

該当するものではありません。



図 2-13 四條畷楠木正行墓のくす

（8）埋蔵文化財

街道跡や墓地を含めて 51 箇所の埋蔵文化財包蔵地が市内に広く確認されています。時代幅は旧石器時代から近世までおよびます。代表的なものとして、中世の集落跡・城館跡である八ノ坪遺跡・田原城跡、古墳時代の集落跡を中心とした葺屋北遺跡などがあります。

（9）文化財の保存技術

該当するものではありません。

（10）その他の所産

言い伝え（伝説・伝承・民話などを含む）としては、権現の滝や雁塔などがあります。地名は市史第 1 巻の編さんにともなう小字調査で把握しており、古戦田など四條畷の戦いを連想させる地名もあります。

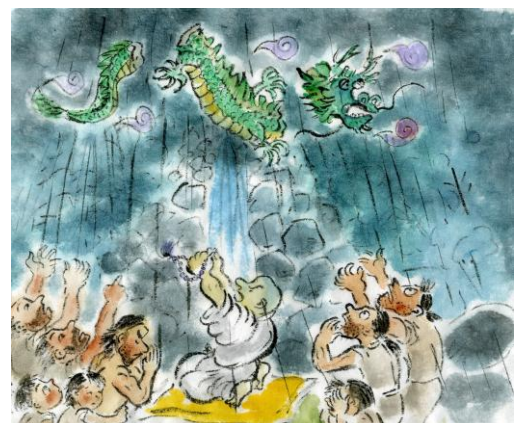


図 2-14 権現の滝（民話）

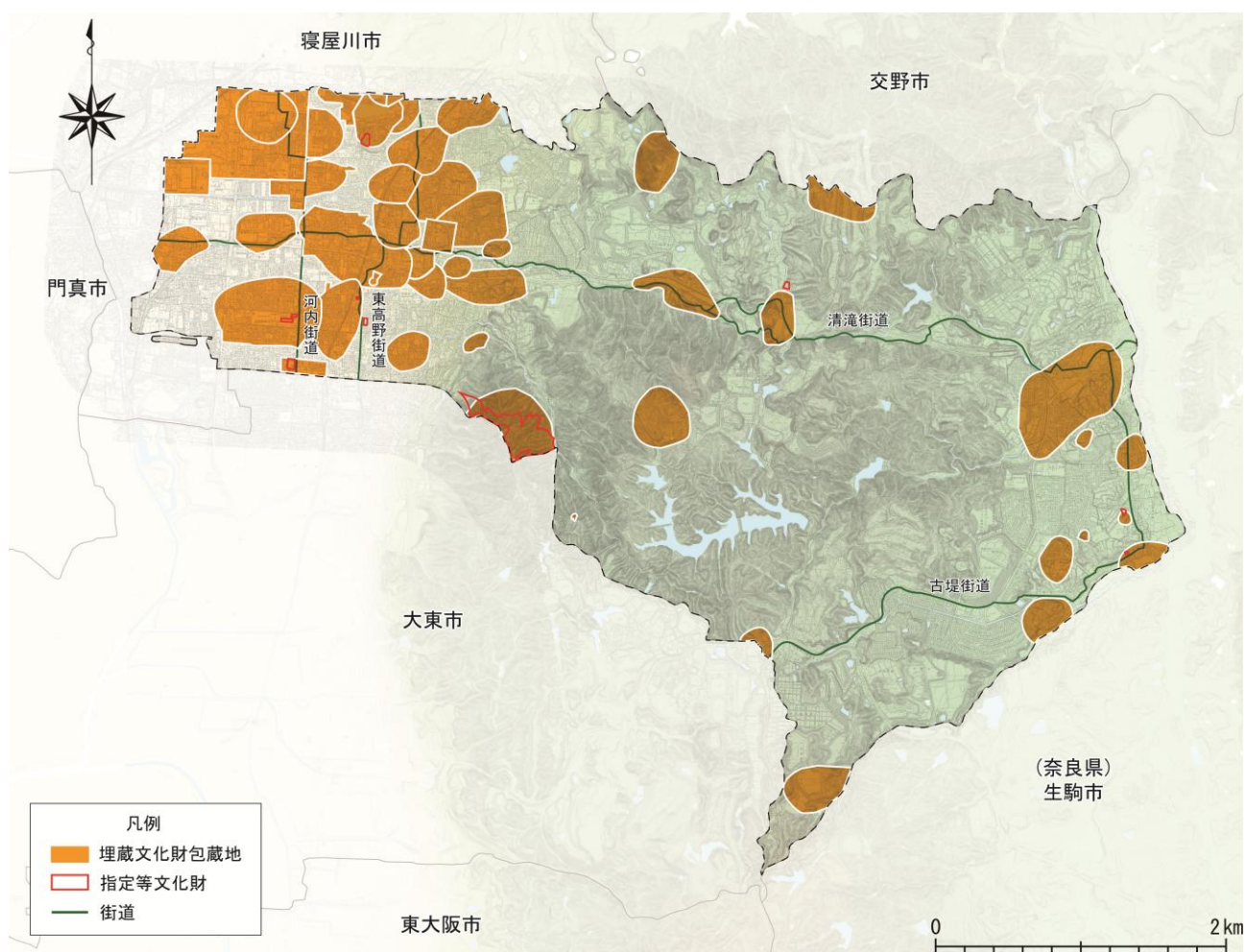


図 2-15 埋蔵文化財、指定等文化財分布図